

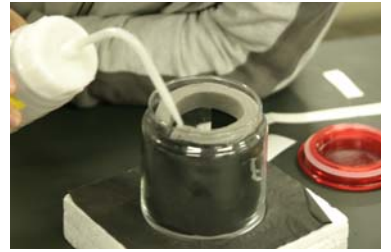
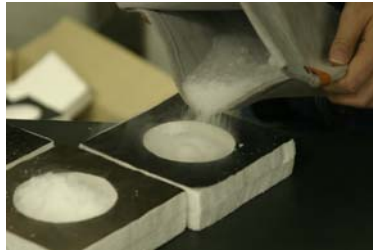
霧箱作って放射線を観察しよう！

身の回りには、全て微弱ながら放射線を出しています(=自然放射線)。自然放射線を見ることができる不思議な箱、霧箱(きりばこ)を作ります。

【用意するもの】 フタ付き透明容器・黒紙・スポンジ ※左の3つはアルコールに侵されないものを選ぶ
アルコール・発泡スチロール・ドライアイス・懐中電灯



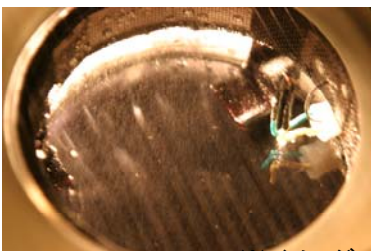
容器の内側に黒紙を、容器の口の内側にスポンジを貼り付けます。この時、黒紙とスポンジの間に隙間を少しあけておき、また中を覗くための窓も開けておきます。



発泡スチロールに容器が置けるようくり抜いて、その中にドライアイスを入れます。ドライアイスの上に容器を置き、容器の内側に貼ったスポンジにアルコールを染みこませます。



容器にフタをして、アルコールの蒸気ができるようフタを手で押さえ温めます。これで準備ができました。部屋の電気を消し、手元のあかりで容器を照らして窓から容器の中のをぞきます。



※イメージ

すると、容器の中で白いスジができるのを観察することができます。これが放射線が通った跡なのです。

スジに見えたのは 空気中にある、目に見えない放射線が容器の中を通ったとき、周りにあるアルコールの蒸気を乱してできた霧です。

どのようなところから多く自然放射線を出しているのか、調べてみるのもよいでしょう。